

クリントートCEの効果確認試験

JA上川中央

中田 康之



左:試験品 右:現行品(3月)



外観(5月)



試験区(5月)



使用後(7月)



試験区(7月)

試験目的

クリントート薄膜品の外張り効果確認試験

試験作物 及び品種

水稻(かぜのこもち)

試験資材 及び数量(規格)

クリントートCE(0.08mm×800cm×36m)

慣行資材

ハイヒット21(0.1mm×800cm×36m)

栽培方法

定植日
慣行区:4月中旬
試験区:4月中旬

収穫日
慣行区:8月中旬
試験区:8月中旬

資材使用期間

3月中旬～6月上旬

試験区面積

700㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

農ビと比較してPOは硬さがあるため紙のように感じた。

比較すると非常に軽いため作業しやすかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

差は感じられず、問題なかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 透明度が高いため、通常3年程度使用しているが、破れなければ問題なく3年は使用可能だと思う。

【問題点】: 風を受けると若干パタパタするように感じた。農ポリのような柔らかさがないので仕方がないと思う。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

試験品は厚みが薄いため、風を受けるのは不安だったが、特に問題なかった。

(5)保温効果について

農ビと比較すると保温効果は低くなってしまうが、問題ない。

モニター感想

非常に軽いため、展張や巻き上げ等の作業が非常に楽だった。

ハウスの天井パイプにまとめ、上から袋をかぶせて来年まで保管するが、POの性質上農ビと比較して若干大きくなってしまい、かさ張ってしまうのが少し気になった。

生育等に問題はなかったため、来年も使用しようと思う。

JA担当者の感想(購買課 斉藤係長)

上川町は気温が低く、風も強い地域であるため、0.1mm厚でなくても使用できるのか不安はあった。

今回の試験で問題なく使用できて良かったと思うし、来年以降の使用状況も見ながら、普及を検討していきたい。

作業が楽になり価格も下がるのであれば、薄物化はメリットが大きいと思う。

今後の使用について

継続して使用したい。

将来希望する資材について

体を痛めず長く農業を続けるための、省力化資材がもっと増えてくることが望ましい。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他